


Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今月の海の生き物」 ハマエンドウ *Lathylus japonicus* Willd

北海道から九州まで日本全国の海浜に生育しているハマエンドウは多年生のマメ科レンリソウ属の草本である。春から初夏にかけて濃い紫色の花を咲かせる。花色は赤紫から青紫まで変化する。日当たりの良い砂地や岩場に生育する。草丈は低く、地表面を這うように茎を伸ばし、羽状複葉の先端は巻きひげ状になる。豆のさやは無毛で、長さ 5cm 前後に



なる。海流に乗ってアジア、ヨーロッパ、南北アメリカなど世界中の海岸に分布を広げている。しかし、ハマエンドウなどの海岸の植物は護岸の整備、埋め立て、海砂の採取などによって次第に少なくなってきた。現在では元々ポピュラーであった植物も少なくなり、北海道以外では比較的減少してきている。福島県いわき市の久之浜海岸では、地元の人たちによって保護され、比較的良く残

っており、毎年ハマエンドウ祭りが行われている。海岸砂浜に生える海浜植物は、乾燥に対するさまざまな戦略をとっているが、ハマエンドウは晴れた日中には、葉を閉じて蒸散を防いでいる。若い葉や芽は食用にする。種子の豆は、硬くて食用には向かない。

(山口県油谷湾にて 向井 宏撮影)

- 目次 「今月の海の生き物」 ハマエンドウ
1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
 2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
 3. 海の生き物とその環境に関する出版物
 4. きらめく動物たちの命と海 久保田信の白浜だより（その7）
 5. 事務局便り
 6. 編集後記

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

【全国】

●津波対策法案が衆院を通過 観測体制の強化、施設整備

東北大津波の被害に遭って、「これまでの国の津波対策が十分でなかったことを反省」し、津波対策を総合的に進めなければならないとした津波対策推進法案が衆議院に提案され、6月10日日本会議を全会一致で通過した。今国会中に成立する見込み。総合的な取り組みとは、観測態勢の強化、避難体制の整備、防潮堤などの整備、津波を考慮した街づくりなど。これまでの対策の反省はどこに生かされるのかははっきりしない。このままでは、これまでと同じように海岸に防潮堤による津波対策が行われ、防潮堤ぎりぎりまでの開発・建設が行われる可能性がある。

【北海道】

●オットセイ6頭 漁業被害で調査捕殺

北海道渡島管内の松前町沖には、最近オットセイが出没し、網にかかったイカなどの食害が相次いでいると漁業者が対策を求めているのに対して、松前町による道内では初めてとなるオットセイの捕獲調査が行われた。その結果、捕殺許可の出た上限の6頭を殺害し、道立稚内水産試験場に送って、調べてもらうことになっている。オットセイは保護動物に指定されており、むやみに殺すことは許されておらず、漁業者から強く要請されたもの。オットセイの個体数が増加しているとするれば、喜ばしいことであるが、ここでもアザラシと同じように保護動物による害が問題になりかねない。もっとも良い解決方法は、きちんとした科学的なデータを取って、議論することである。アザラシもオットセイも「風評被害」が解決の妨げになっていることが多いのだ。

●釧路沖のクジラからセシウムを検出

北海道釧路沖の調査捕鯨で捕獲されたミンククジラの肉から、1kgあたり31ベクレルの放射性物質セシウムが検出された。調査した水産庁が発表した。これまでは放射性物質の測定は行っていなかったが、フクシマ原発事故の影響を調べる中で、検出されたもの。このクジラの肉はすでに市場に出回っているが、水産庁では厚生労働省の定める暫定基準値500ベクレルの10分の1なので問題ないとして、回収するつもりはない。この放射性物質がどこからきたかは不明だが、フクシマ原発事故の影響とすると、コウナゴなどの小魚を食べて濃縮した可能性もある。しかし、生物濃縮するには時間的に早すぎるという指摘もあり、フクシマ原発事故の影響でないとする、六ヶ所村の再処理施設からの漏洩が疑われる。どちらにしても、深刻な事態が進んでいるようだ。けっして安心できることではない。

【東北】

●底曳き船によるがれき撤去始まる

宮城県沿岸で底曳き網によるがれきの撤去作業が始まった。水深100mを超える海底からも、津波で流された多くの機材や家の残骸などが引き揚げられている。しかし、網がしょっちゅう破れたり、スクリューにロープが絡んだり、撤去作業も危険がいっぱいだ。すべてが片付き、底曳き網が操業できるようになるには、まだまだ1年はかかりそうだと言われている。

●アイナメ、ドンコ、シラスなどからも 高濃度の放射性セシウム

福島県と政府の原子力災害現地対策本部は、魚類などの放射性物質濃度を測定し、発表した。それによると、いわき市小名浜沖のアイナメと、勿来沖のドンコ（エゾイソアイナメ）から、暫定基準値をこえる高い放射性セシウムを検出した。アイナメは780ベクレル、ドンコは1150ベクレルとかなり高いレベル。他にも、小名浜沖のシラス、ホッキガイ、キタムラサキウニ、アラメが基準を超えるセシウムを持っていた。市場には流通していないが、福島県では漁業はもはや成り立たない。

●海水からストロンチウム…原発取水口付近

福島第一原発の取水口付近の海水から、高濃度の放射性物質ストロンチウム89と90が検出された。国が定めている暫定基準値の240倍にもなる。原子力安全・保安院が発表した。ストロンチウム90は、体内の骨に蓄積することが知られていて、半減期も約29年と長く、

体内被曝の大きい原因になる。ストロンチウムは比較的重い物質で、海底に沈殿する傾向があるが、それが海水中にも大量に含まれていたことから、海底にはさらに大量のストロンチウムが沈殿している可能性が高く、ベントス（底生生物）や魚などに食物連鎖を通して蓄積される可能性は高いと見られる。西山保安院審議官は、「海で希釈されており、大きな影響はない」と相変わらず脳天気な発言を続けている。

●ウツズホール海洋研究所が福島県沖で海洋調査

日本政府は、アメリカのウツズホール海洋研究所から申請が出されていた福島県沖の海洋調査を許可した。ウツズホール海洋研究所は、海水や海洋生物を採取し、フクシマ原発事故で出された放射性物質がどのように拡散し、生態系にどのように影響を及ぼすかを調べる。日本政府はいち早く調査を申し出た環境保護団体のグリーンピース「虹の戦士号」による海洋調査申請を拒否し、今回は理由無く許可した。グリーンピースの測定結果はすでに公表されているが、政府はアメリカによる調査であることを理由に、許可を与えたことさえも公表していない。隠蔽体質と差別体質は変わっていない。

●いわき沖漁場の海底土壌からセシウム

福島県は、5月26日に、いわき市沖の漁場で海底土壌を採取し、放射性物質の量を調べた。その結果、最高で1kgあたり9271ベクレルという高い値の放射性セシウムを検出した。過去1973年から何度か測定していたが、過去もっとも高い放射性物質量は最高4ベクレルだった。今回はその2000倍以上となった。海底土壌の安全基準値は定められていない。県はこれからも継続して調査する予定である。

●地震でダムが決壊 死者・不明8名

福島県須賀川市の貯水池藤沼湖のダムが、3月11日の大地震で決壊し、下流の家が流されて、死者7名、行方不明1名の犠牲者が出て、周辺地区は大きな被害を被っている。大津波のニュースに隠れてほとんど報道されていないが、ダムの危険性に今後の議論を呼ぶ事態が起こっている。これだけの大事故でありながら、3ヶ月経っても責任の所在がはっきりせず、補償や対策がまったく進んでいない。被災した住民は不満を募らせている。また、その他のダムでも亀裂が入るなど危険な箇所が発生している可能性も高く、ダムの一斉見直しが必要という声も上がっている。老朽化したダムの撤去などが、これから議論されるべきである。

●安心利用へ水浴場の放射性物質を調査

福島県では、この夏に営業予定の海水浴場および淡水湖の放射性物質量を調査した。浜辺の砂に含まれる放射性物質量によっては、直接肌に触れる状態になるため、慎重に検査している。結果はまだ出ていないが、来週あたりに発表される予定。海水浴場などで放射性物質を測定するのは初めて。

【関東】

●「地震でイルカ大量打ち上げ」のデマ

東日本大震災の3月11日の前、3月4日夜に、茨城県鹿嶋市の下津海岸に50頭以上のイルカが打ち上げられた。これらのうち、多くは大洗水族館の獣医の手によって手当を受け、沖に放された。その後、このイルカの打ち上げが地震を予知したという噂が流れ、やがて地震の後に多数のイルカが大洗海岸に打ち上げられたという噂になって、インターネット上に流れた。とくに4月11日に茨城県内で震度6の余震があってから、一気に噂が広まった。大洗観光協会では、これは風評にすぎず、観光被害につながりかねないとホームページを通じて打ち消しに必至だった。最近ようやくネット上から噂が消えたようだ。

【中部・東海】

●長良川河口堰の開門検証 有識者会議初会合、費用対効果を重視

1995年に多くの人々の反対を押し切って、水資源公団が三重県桑名市の長良川河口に1493億円をかけて河口堰を作り、水門を閉め切ってから、早くも16年が経つ。河口堰建設の理由は、利水と治水であるが、愛知県での利水量は、水量毎秒22.5トンのうちのわずか2.86トンのみ。工業用水と名古屋市の水道水は、河口堰本格運用後、一滴も利用されていない。それにもかかわらず愛知県は利水権のために467億円の建設費を負担し、さらに毎年数億円を支払っている。そのために、環境面の悪影響だけでなく、税金の無駄遣いと指摘も出ている。そこで、愛知県では長良川河口堰を開門するよう求める意見について、県独自に検証作業を開始した。検証のための有識者会議が開かれ、開門反対の元国交省河川局長と開門すべきとする二人の大学教授が意見を述べた。愛知県は、環境上の問題だけではなく、費用対効果の面からも河口堰を検証する方針だ。愛知県が利水を返上したばあいは、資金計画の枠組みが崩れ、他の自治体へも大きい影響がある。開門圧力はさらに強まると思われる。愛知県の大村知事や河村名古屋市長も、開門へ向けた発言を行っている。国交省の巨大公共事業の無駄遣いと環境破壊によりやく目が向けられる時代が来たようだ。

●名古屋港水族館でイルカ転落死

愛知県名古屋市の名古屋港水族館で、カマイルカの雌「サラ」が、イルカショーの練習中に高さ4mから宙返りをしながらコンクリートの床に落下し、左肺を破裂させて死亡した。即死だった。「サラ」は、和歌山県太地町の追い込み漁で捕まり、名古屋港水族館が100万円で購入した。水族館の館長は、「飼育面や施設面の問題はなかった」と述べたが、原因ははっきりしないとしている。狭いプールで無理な演技をさせていなかったらどうか。金儲け主義で水族館が汚染されていなかったらどうか。

●プラスチック類漂着ごみ多数 羽咋の海岸

石川県では、羽咋市の釜屋海岸で漂着ゴミの調査を行った。県の廃棄物対策課職員や地元の羽咋市職員などが参加し、調査区画内のゴミの種類を分け、数を数えた。その結果は、プラスチック類や発泡スチロール類が大部分であった。1996年から毎年調査しているが、ゴミの量は増え続けている。

【近畿】

●アサリを守るため 天敵のヒトデ駆除

京都府宮津市の天橋立の内海である阿蘇海のアサリを守ろうと、宮津市海洋高校の生徒たちがアサリの天敵ヒトデの駆除を行っている。生徒たちは海に潜って海底にいるヒトデを捕まえた。捕まえたヒトデは、校内で塩抜きして堆肥に混ぜ、発酵させて畑の堆肥として利用している。漁業者らは「ヒトデの食害にずっと苦労してきたので、助かります」と喜んでいる。阿蘇海のアサリは1981年に127トンを生産、それ以降は毎年のように減少し続けている。最近の3年間はいずれも40トンを割り込んでいる。ヒトデはアサリのような二枚貝を好んで食べる。そのために、アサリの養殖場などで大発生を繰り返す。ヒトデが増えるのは、アサリが増えたことの裏返しでもあるということも、生徒たちは学んで欲しいものだ。

●天然記念物のオカヤドカリを調査 白浜町番所山

和歌山県白浜町臨海の番所山(高さ30m)に、オカヤドカリが多数生息しているのが発見された。オカヤドカリは鹿児島県から沖縄諸島に広く分布する暖海性の甲殻類で、海の中には入らずに陸で生活するヤドカリである。国の天然記念物に指定されており、原則として捕獲は禁止されている。発見した久保田信京大准教授は、「個体数や生活史を把握して保護につなげたい」と調査を始めた。調査は番所山の遊歩道や周辺を定点観察し、それを定期的に継続している。番所山は白浜

町などが「番所山を拠点とした臨海地域活性化協議会」を発足させて、遊歩道などを整備して観光客の誘致につなげたいという。しかし、景観や自然に配慮し、大きな建物や構造物は建設しないことで合意している。

●160種の魚類を確認 串本の海中展望台から

和歌山県串本町の串本海中公園センターは、海中展望台の窓（水深5m）から毎月10日間、一日20分間の観察を継続しており、その結果を公表した。昨年2010年には、年間160種の魚が観察された。そのうち、昨年初めて新しく見られたのは、ヒレグロハタ、イラ、タイワンプダイ、イナセギンポ、ヤクシマイワシ、それにタカノハダイとミギマキの雑種の合計6種。季節的な出現数の変化は、1～3月が少なく（31.3種）、10～12月は58.0種と多かった。イシガキフグ、ニジギンポ、キビナゴなど出現率が上がった魚に比べて、セナスジベラ、トノサマダイ、テンジクスズメダイ、ムギイワシなど出現率が減少した魚の方が多かった。それは、台風の攪乱や夏の異常な暑さが原因ではないかと考えられている。

●ダイバーが白良浜を清掃 50人が潜水

和歌山県白浜町の白良浜海水浴場の海底を、ダイバーら50人あまりが潜水しながら清掃した。白浜町のダイビングショップ「ミスオーシャン」が主催して昨年から行っているボランティアイベントで、今年は白良浜の海底5m付近のゴミを拾った。

●アカウミガメが千里の浜で産卵 今季初

和歌山県みなべ町山内の千里の浜は、アカウミガメの上陸・産卵で有名なところ。今年は5月30日の夜に、今シーズン初めてのアカウミガメが上陸したのが確認された。今年の初上陸は昨年に比べて2週間も遅く、「みなべウミガメ研究班」では、これまででももっとも遅かった、冬の低温の影響かもしれないと話していた。発見したのは、3ヶ所の上陸の痕跡と1ヶ所の産卵。痕跡から、同じ個体が3回上陸し、最後に産卵したと見られる。昨年は初上陸が5月12日で、8月20日まで上陸産卵が見られた。この間に575回の上陸があり、産卵は274回行われた。「研究班」では、ウミガメの上陸回数は隔年で増減があり、昨年が多かったので、今年は少ないかもしれないと言っている。千里の浜でウミガメの上陸産卵を見学する場合は、みなべ町教育委員会の許可が必要で、ライトを照らさないことやフラッシュ・ストロボの使用は厳禁などのルールを守る必要がある。見学希望者は、町のホームページから申請書をダウンロードして、同教育委員会教育学習課に提出する。または、

kyoiku@town.minabe.lg.jp にメールでも申し込める。

【中四国】

●下松市議会も 上関原発「凍結」の意見書

福島第一原発の事故を受けて、各地で原発の見直しが進んでいる。山口県上関町の原発建設予定地から30km 圏内に入る各自治体では、議会が始まって原発の危険性についての議論が盛んに行われている。また、30km 圏内の住民たちの不安は無視できないレベルになっている。先月に山口県周南市の議会が全会一致で上関原発建設反対を議決したのに続いて、今月9日には、下松市議会が上関原発計画の「凍結」を求める意見書を全会一致で可決した。また、柳井市議会でも計画の中止を求める意見書が提出された。周防大島町議会では、16日に「安全性の確立されていない上関原発建設は認められない」とする意見書が可決された。下松市議会には、中国電力の社員が議員になっており、この議員が原発反対決議に不同意を示したことから、計画「凍結」という言葉で、全会一致の決議としたもので、中国電力社員の議員も、原発推進とは言えなくなっていることを表している。今後開かれる山口県議会で、二井知事がどのような態度を明らかにするかに焦点が集まっている。

●ウによる魚捕食 漁業に影響か？

広島県呉市音戸や安浦町など沿岸部にカワウやウミウなど鵜によって放流した稚魚が食べられていると被害を訴える声が増えている。14 漁協のうち 10 漁協までが、漁業に影響があると訴える。とくに今年になって被害が増加している。呉市では、有害鳥獣に指定して駆除するなどの対応を考えているようである。ただ、漁協が被害の訴えをしているのは、データがあるわけではなく、漁業が不振なときには、何かのせいにする傾向がないとは言えない。鵜も魚を食べなければ生存できない。鳥獣対策もきちんと科学的な調査に基づいて行わなければ、かえって環境悪化を引き起こしかねない。

●大里松原海岸にアカウミガメ 今年初

徳島県海陽町の大里松原海岸に 6 月 5 日朝、アカウミガメが 1 頭上陸し産卵した。今年初めてのの上陸で、昨年と比べて 2 週間ほど遅い。産まれた卵は 8 月 10 日頃、孵化する予定である。上陸も産卵も遅かった今年、上陸数が大幅に減少する可能性があると、地元の「大里松原ウミガメを守る会」では心配している。

【九州】

●諫早湾開門調査アセス 1077億円の過大見積もり

昨年12月、福岡高裁の判決を国が受け入れた国営諫早湾干拓事業の長期開門調査に向けて、農水省は環境アセスメントの中間報告を行い、対策工事など開門に伴う予算を見積もった。その結果、二つの排水門を（1）当初から全開、（2）段階的に開門、（3）部分的な開門、の3つについて対策工事費をみつもり、概算で1077億円から1082億円と予想した。（1）も（2）も、1077億円かかると算出。排水門周辺の海底がえぐられるのを防ぐ敷石対策と称して395億円を計上している。また、防災対策として洪水時の排水ポンプの設置など、かなりの大規模な対策を考えて予算の大幅な増加を見込んでいる。一方、開門調査が自然環境へ与える影響については、潮位、潮流、水質などについて記述しているが、大きな変化はないとした。この中間報告書について、開門訴訟原告弁護団の堀良一弁護士は、「段階的な開門方式の工事費を1077億円かかると算出したのは、巨額に見積もりすぎて、あきれるばかり。本気で開門する気持ちがないとしか思えない」と批判した。できる限り巨額に見積もることで、開門調査の経済的利益をできる限り少なく見せる農水省のやり方だろう。開門反対農家の開門差し止め訴訟に期待して、応援のための試算かもしれない。締め切り工事完成の前に見直しを行うことを農水省が拒否してきたことこそ、税金の無駄遣いをこれからも続ける最大の要因だ。

●博多湾「貧酸素化」の窪地埋め戻し

福岡市百道浜、姪浜地区の埋立事業で、市内室見川の河口付近の海底土砂を掘削して埋め立てに使った場所に、4~9mの深いくぼみができており、そこには夏になると溜まった有機物が分解し、無酸素海水が発生する。青潮とよばれるこの現象は、夏に博多湾の各地に発生し、貝類など海の生き物を殺す。そのために、国土交通省九州地方整備局では、博多湾の航路浚渫で出た土砂を、これら窪地に埋め戻し、博多湾の改善を目指している。博多湾の水質の悪化などからの回復が見込めるとしているが、埋立で海を殺し、土砂を掘り取って窪地をあちこちに作り、環境悪化を引き起こしたことへの反省がまず必要なのではないか。窪地を埋めるのに浚渫土砂を使うと言う発想からは、浚渫土砂の捨て場に困って考え出したと憶測できる事業である。本当に環境を良くしようと思って事業を考える発想は、まだまだ育っていないのだろうか。

【沖縄】

●沖縄防衛局の辺野古調査 県が不許可か？

アメリカ軍普天間飛行場の移設に向け沖縄防衛局が沖縄県名護市辺野古周辺で実施している現況調査の中で、沖縄県に野生生物の捕獲などの許可を求めているが、沖縄県がそれを

不許可とする可能性が出てきた。沖縄県返還問題対策課では「県は基地の県外移設を求めている。その考え方をきちんとふまえた対応をしたい」と述べた。沖縄平和市民連絡会の要請に対して、述べたもの。

●普天間移設先に名乗り 沖縄・国頭村の安波地区

アメリカ軍普天間飛行場の移設先を辺野古とするよう国が沖縄県に要請している件で、沖縄県国頭村の安波地区が、区民総会で条件付きで移設を受け入れるという方針を決めた。安波地区に辺野古に代わる基地を作るように申し入れる。条件は、国頭村まで沖縄道を延伸することなど地域振興策を行うこと。しかし、国頭村の村長は、「村としてはノーだ。県外、国外に移設してもらいたい」と反対姿勢を明らかにしている。安波地区は貧困と不便さからの脱出に基地を受け入れることで脱却を目指すとしているが、果たして生活の基礎である海を殺して、彼らが幸福になれるだろうか。辺野古の人々との思いの違いに暗然とする。

●北沢防衛相 辺野古へV字滑走路で基地建設を伝える

北沢防衛相は、仲井真沖縄県知事と会談し、21日の日米安保協議委員会(2+2)で、普天間飛行場の代替施設として辺野古に2本のV字型滑走路を建設する方針を決めると、正式に伝えた。とうとう、辺野古の基地建設が動き始めるか?しかし、県民の県外国外移設要求は変わっていない。鳩山前首相のクビと引き替えの辺野古決定と同じようなことが起こるのだろうか。ジュゴンをはじめとする辺野古・大浦湾の海の生き物をなんとか守り抜きたい。

2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【北海道】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会 in 知床

日時：2011年6月19日(日曜日)13:30上映/13:00開場

場所：北海道斜里町本町4(地図)ゆめホール知床

【参加費】1000円/小学生無料

【問合せ先】宍倉/0152-23-1637

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 釧路

日時：2011年6月26日(日曜日)第1回...開場13:00・上映13:30/第2回...開場16:00・

上映 16:30

場所：北海道釧路市幸町 4-1-5 ([地図](#)) 釧路芸術館

【参加費】 1000 円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」釧路上映実行委員会

【問合せ先】須藤／0154-39-2581／kyoendo@anzu946.com

【東北】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 長井市★山形県リレー上映会★

日時：2011年6月18日(土) 第1回 10:00／第2回 13:00／第3回 16:00／第4回 18:30

場所：山形県長井市九野本 1235-1 ([地図](#))長井市置賜生涯学習プラザ

【参加費】大人 1000 円／小中学生 500 円

【主催】楽市プロジェクト

【問合せ先】キナリブロート井口／0238-40-0381

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 米沢市 ★山形県リレー上映会★

日時：2011年6月19日(日曜日) 第1回 10:00／第2回 13:00／第3回 16:00

場所：山形県米沢市城南 4-3-16 ([地図](#))山形大学工学部中示 A 教室

【参加費】大人 1000 円／小中学生 500 円

【主催】楽市プロジェクト 【問合せ先】キナリブロート井口／0238-40-0381

【関東】

●NPO「海の自然史研究所」(MARE) リーダー養成ワークショップ

延期しておりました MARE リーダー養成ワークショップの東京会場分を開催いたします。

海洋教育、体験型の科学教育に興味のある方のご参加をお待ちしております。

日時：6月25日(土)、26日(日)

両日とも 9:00 受付開始 17:00 終了

会場：大森 海苔のふるさと館 (東京都大田区)

参加費：18,000 円

詳細は、ブログのイベント案内をご覧ください <http://blog.canpan.info/marinelearning/archive/80>

募集チラシ、申込書などもアップしております。

●三番瀬「生き物見つけよう」

日時：2008年7月21日 10時～17時

場所：三番瀬

資料代：一家族：200 円

プログラム

9:30～10:00 参加受付

- 10:00～10:20 開会・生きもの紙芝居
- 10:20～12:30 生き物を見つけるラリー（歩く・見る・顕微鏡で見る）
- 13:00～14:00 子どもエイサの舞い（生物多様性の人形劇？）
- ※10:00～15:50 写真展示
- 14:00～14:30 ラムサール・トーク
- 14:30～15:30 クリン・アップ作戦
- 15:30～16:30 会場のあと片付け
- 16:30～ 閉会
- 17:00～ 自由に～夕日を楽しもう！

アクセス：京成線：船橋駅下車 船橋駅からバス：船橋三番瀬海浜公園行き

バスの時刻：9:00 9:20 9:40 (乗車 20 分ぐらい)

主催：生きもの見つけよう実行委員会

連絡先：TEL&FAX 047-318-4807（岸本） Email：a1047w6@icnet.ne.jp

●行徳野鳥観察舎公開講座

日時：2011年6月18日(土) 午後1時半～4時頃

会場：行徳野鳥観察舎 1階視聴覚室

定員：30名

対象者：興味のある方

申し込み方法：当日会場で

費用：無料

内容：行徳鳥獣保護区造成から35年が経過しました。何も無かった埋立地には、クロマツや桜など50種をこえる樹木をはじめ、数多くの植物が育っています。そんな保護区の植物について、千葉県生物学会顧問の岩瀬徹先生をお招きしてその特徴や遷移の様子など現地観察を交えてお話しいたします。

雨天決行。保護区湿地帯を歩くため、あれば長靴持参(観察舎にも少数貸出用がございます)

問い合わせ先：野鳥観察舎 047-397-9046(電話・FAX)

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 千葉

日時：2011年6月18日(土曜日) 開場 13:30 / 上映 14:00

場所：千葉県千葉市中央区千葉寺町 1208-2 千葉市男女共同参画センター

【参加費】前売 1000円 / 当日 1500円

【主催】映画と文化フォーラム

【問合せ先】 西田／043-243-8383／ eiga-bunka-owner@yahogroups.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 忍野村★山梨県リレー上映会★

日時：2011年6月18日(土曜日) 開場 13:10／上映 13:30

場所：忍野ふれあいホール

【参加費】 前売り 1000円／当日 1200円

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】 佐久間／090-3809-0648／ panya@rose.plala.or.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 千代田区

日時：2011年6月18日(土) 午前)開場 9:30／上映 10:00 午後)開場 14:40／上映 15:10

場所：千代田区富士見 2-17-1 ([地図](#)) 法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎さったホール

【参加費】 一般：1000円／法政大関係者：主催者にお問合せ下さい

【主催】 法政大学人間環境学部

【問合せ先】 西城戸・武貞・長谷川・辻／ tonikan@inter7.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 目黒

日時：2011年6月19日(日曜日) 開場 9:00／上映 初回 9:30～

場所：目黒区中根 2-13-20 レオナ都立大3F ([地図](#)) Quantum Gallery & Studio

【参加費】 1500円 (ワンドリンク付き)

【主催】 パーマネントカンパニー

【問合せ先】 田村／080-5009-5212／ info@q-gs.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 甲府市 ★山梨県リレー上映会★

日時：2011年6月26日(日曜日) 開場 13:15／上映 13:45

場所：山梨県甲府市貢川 1-5-35 ([地図](#)) 山梨県立文学館講堂

【参加費】 前売り 1000円／当日 1200円

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】 上野／055-252-8443／ qq4u8nd9@peace.ocn.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 八王子

日時：2011年6月26日(日曜日) 開場 13:00／上映 14:00

場所：東京都八王子市明神町 3-5-1 ([地図](#)) 東京都労政会館ホール

【参加費】 1000円

【主催】 医療法人財団共立医療会・八王子健康友の会

【問合せ先】 武藤／042-639-7634／ tomohati2010@gmail.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 国分寺

日時：2011年6月28日(火曜日) 開場 9:30 / 上映①10:00 ②14:30 ③18:30

場所：国分寺市泉町 3-36-12 (地図)国分寺市立いずみホール A ホール

【参加費】 1000 円

【主催】 国分寺エコメッセ設立準備会

【問合せ先】 藤木 / probonokobo@gmail.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in あざみ野

日時：2011年6月30日(木曜日) 午前の部...映画上映 09:45-12:00、監督講演 12:00-12:30
／午後の部...監督講演 13:30-14:00、映画上映 14:00-16:15 (入場：各回 15 分前)

場所：神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 (地図)アートフォーラムあざみ野レクチャ
ールーム / ※できるだけ公共交通機関をご利用ください。駐車場は予約制(有料)です。

【参加費】 前売り 1300 円 / 当日 1500 円

【託児】 1 歳半～未就学児 / 要予約 (TEL : 045-910-5724) / 1 時間 500 円 / 利用日の 1
カ月前から 3 日前の 17 時まで受付 / ※親子室 (2 階) での鑑賞可。1 歳半まで各回先着 5
組、事前にご予約ください。

【主催】 あざみ野ぶんぶんプロジェクト 【WEB】 <http://azaminobunbun.blogspot.com/>

【問合せ先】 キタハラマドカ (azaminobunbun@gmail.com)

【前売チケット販売店】 オーガニックカフェソフ [礎・波] TEL045-904-1286 / 横浜市青
葉区美しが丘 5-1-5-110 第 3 吉春ビル 火曜日定休

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 吉祥寺

日時：2011年7月1日(金曜日) ①14:00 ②19:00

場所：武蔵野市吉祥寺南町 1-6-22 (地図) 武蔵野公会堂

【参加費】 前売 1000 円 / 当日 1200 円 / ※学割有 (主催者にお問合せ下さい)

【主催】 ぶんぶん MM <http://bunbunmm.tumblr.com/>

【予約・問合せ】 bunbunMM@gmail.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in あざみ野

日時：2011年7月1日(金曜日) 午前の部...映画上映 09:45-12:00、監督講演 12:00-12:30
／午後の部...監督講演 13:30-14:00、映画上映 14:00-16:15 (入場：各回 15 分前)

場所：神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 (地図)アートフォーラムあざみ野レクチャ
ールーム ※できるだけ公共交通機関をご利用ください。駐車場は予約制(有料)です。

【参加費】 前売り 1300 円 / 当日 1500 円

【託児】 1 歳半～未就学児 / 要予約 (TEL : 045-910-5724) / 1 時間 500 円 / 利用日の 1
カ月前から 3 日前の 17 時まで受付 / ※親子室 (2 階) での鑑賞可。1 歳半まで各回先着 5

組、事前にご予約ください。

【主催】あざみ野ぶんぶんプロジェクト <http://azaminobunbun.blogspot.com/>

【問合せ先】キタハラマドカ (azaminobunbun@gmail.com)

【前売チケット販売店】オーガニックカフェソワ [礎・波] TEL045-904-1286 / 横浜市青葉区美しが丘 5-1-5-110 第3吉春ビル 火曜日定休

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 + 槌田敦講演会 in ふじみ野

日時：2011年6月19日(日曜日) 開場 12:30 / 上映 13:00

場所：ふじみ野市上福岡 5-2-12 ([地図](#)) 上福岡西公民館ホール

【参加費】主催者にお問い合わせ下さい

【主催】福島原発事故から考える映画と講演の集い実行委員会

【問合せ先】青木 / 090-7949-9351 / wakabanoiemaruko@vesta.ocn.ne.jp

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 新宿区

日時：2011年6月19日(日曜日) 開場 13:00

場所：新宿区中落合 1-13-5 ([地図](#)) 丸助

【参加費】400円 【主催】丸助

【問合せ先】丸山 / 03-3950-1700

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 藤沢

日時：2011年6月22日(水曜日) 開場 13:00 / 上映 13:30

場所：神奈川県藤沢市辻堂 ([地図](#)) 鎌田クッキングスタジオ

【参加費】400円 【主催】藤沢ぶんぶんの会

【問合せ先】鎌田 / 080-3470-0034 / patamama@jcom.home.ne.jp

※要事前連絡：個人宅のためご連絡をいただいた方に住所をお知らせいたします※

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 浦安市

日時：2011年6月24日(金曜日) 開場 10:00 / 上映 10:15

場所：浦安市入船 1-4-1 シッパーズプラザ ([地図](#)) 市民プラザ wave101

【参加費】400円 【主催】生活クラブ虹の街 京葉ブロック

【問合せ先】小畑 / 043-278-7629 / higashi.kumiji@s-club.coop

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 + 皆でトーク手作りお菓子つき (子連れ大歓迎) in 杉並区

日時：2011年6月25日(土曜日) 開場 13:30 / 上映 14:00

場所：杉並区梅里 1-22-32 ([地図](#)) セシオン杉並

【参加費（お菓子付き）】前売 1000 円／当日 1300 円

【主催】おひさま会

【問合せ先】見澤（みさわ）／090-4837-3869／ ohisamakids3@gmail.com

「ぶんぶん通信 no.1」上映会＋キャンドル作りワークショップ in 武蔵野市

日時：2011 年 6 月 25 日（土曜日）開場 13：00／上映 13：30

場所：東京都武蔵野市関前 3-10-6 ([地図](#))クラフトハウス・ばく

【参加費】1000 円（お茶・お菓子付）／学割有：主催者にお問合せ下さい

【主催】企画集団 A-A' 【問合せ先】クラフトハウスばく／0422-36-8311

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 宇都宮市

日時：2011 年 6 月 26 日（日曜日）開場 14:00／上映 14:15

場所：宇都宮市昭和 2-2-7 ([地図](#))とちぎボランティア NPO センター ぼ・ら・ら・

【参加費】600 円 【主催】ぶんぶん通信を観る会

【問合せ先】おぎの／080-3318-6204／ soraproj@gmail.com

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 千葉市

日時：2011 年 6 月 27 日（月曜日）開場 10:00／上映 10:15

場所：千葉市美浜区真砂 5-21-12 ([地図](#))生活クラブ虹の街本部

【参加費】400 円 【主催】生活クラブ虹の街 京葉ブロック

【問合せ先】小畑／043-278-7629／ higashi.kumiji@s-club.coop

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 八千代市

日時：2011 年 6 月 29 日（水曜日）開場 9:45／上映 10:10

場所：千葉県八千代市ゆりのき台 3-7-3 ([地図](#))八千代市総合生涯学習センター

【参加費】400 円 【主催】生活クラブ千葉京葉ブロック八千代支部

【問合せ先】北山／043-278-7629／ sanaekitayama@hotmail.co.jp

● 瀬瀬あや監督作品 映画「祝の島」上映予定

日時	場所	会場	問合せ先
6月17日(金) 10:00～	長野県 北安曇郡	浄念寺 (コタツだんらんツ アー in 信州 ・池田会場)	0263-55-6147 (高見沢) 0263-64-2069 (徳久) unir_mar_monte@yahoo.co.jp

6月17日(金) 19:00～	長野県 大町市	青空屋台のおうち (コタツ だんらんツアー in 信州・大 町会場)	0261-29-2831 (鈴木) 090-7208-3922 unir_mar_monte@yahoo.co.jp
6月18日(土) 18:00～	奈良市	都跡公民館	090-9047-9517 (中島)
6月19日(日) 14:25～	千葉県 浦安市	浦安市民プラザ wave101	070-5454-1980 (浦安ドキュメンタリー オフィス ・中山) info@urayasu-doc.com
6月20日(月) 10:00～	奈良県 生駒市	生駒市コミュニティセ ンター	090-6912-3141 (上市)
6月21日(火) 19:00～	奈良市	グループホームあみ	090-6912-3141 (上市)
6月26日(木) 14:00～	奈良県 宇陀郡	天然酵母パン ファミ リエ	050-5004-6222 (天然酵母パン ファミ リエ・イジマ) tennenkoubo@gmail.com
7月2日(土)～8 日(金)	宮城県 仙台市	フォーラム仙台	022-728-7866
7月2日(土) 17:00～	徳島県 美馬市	Trip 四国の川の案内人 (野外, 雨天会場変更)	0883-55-3422 (牛尾)

【東海・中部】

● うみべえ自然観察講座 「大浜海岸の石はどこから来たの!？」

大浜海岸には大小さまざまな石が転がってるね。これはどこから来たんだろ? 石ってどうやって生まれたんだろ? どうやってできたんだろ?

みんなで海岸を歩いてたくさんの種類の石を拾おう。

石のふるさとを探ろう!

日時: 7月10日(日) **9時集合** ~11:30(終了予定) ※雨天決行

【対象者】 小学校4年生~6年生

※ 小学校1年生~3年生は保護者同伴なら参加できます。

【募集人数】 定員40名(申し込み先着順)

【集合場所】 大浜ロータリーから100m東側の公園。(自家用車の駐車は可能です。)

【参加費】 無料

【持ち物】 ①筆記用具 ②拾った石を入れる丈夫な袋(またはバケツ)

【申込み】 電話にてお申込みください。井田宛 054-261-0717(井田製材㈱)

静岡・海辺づくりの会 自然観察部

●名古屋港水族館 第3回 見てみよう! 河口の泥地 干潟の生き物たち

日時: 2011年7月2日(土)

場所: 一色干潟(吉良吉田海岸)

応募締切: 平成23年6月18日(土)必着

水族館から現地まで貸切バスを利用します。途中からの参加および早退はできません。

昼食は各自ご持参ください。

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 松本

日時: 2011年6月29日(水曜日) 開場18:00/上映18:20

場所: 松本市旭3-1-1(地図)信州大学全学講義室12番教室

【参加費】 主催者にお問合せ下さい

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」信州大学上映会実行委員会

【問合せ先】 窪田/080-1113-4578/ Kubota@n-mr.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 岐阜市

日時: 2011年7月2日(土曜日) 1) 開場14:30/上映15:00 2) 開場10:00/上映10:30

場所: 岐阜市藪田南5-14-53(地図)岐阜県県民ふれあい会館中会議室301

【参加費】 前売: 1000円/当日: 1200円 【主催】 かえるファーム

【問合せ先】 石井／090-8218-1231／ gifu_bee@yahoo.co.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 名古屋

日時：2011年7月2日（土曜日）9:30 開場 10:00～12:15 午前の部上映会 13:30～ 鎌仲監督トーク 14:30～15:30 投げ銭ライブ同時時間に開催 14:40～15:30 子ども企画 未来につながるこどもたちへ（こどもたちに鎌仲さんからメッセージ） 15:30～ 午後の部 上映会 18:30～ 天草トリオライブ

場所：名古屋市天白区野並相生 28-340 ([地図](#)) 徳林寺

【参加費】 上映会+監督トーク 1000 円／天草トリオライブ 1500 円 高校生以下：主催者にお問合せ下さい

【主催】 みんなのつながりプロジェクト <http://ameblo.jp/minnanotunagari/>

【問合せ先】 杉浦／080-3628-4700／ tsunatoku03@gmail.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信」上映会 in 静岡

日時：2011年6月18日（土曜日）開場 19:00 19:00～ 「ぶんぶん通信 no.1」上映 20:30～ 「ぶんぶん通信 no.2」上映

場所：静岡市駿河区さつき町 6-5 ([地図](#)) コミュニティスペースふらっと

【参加費】 主催者にお問合せ下さい 【主催】 NPO Lival

【問合せ先】 高橋／054-260-6132／

「ぶんぶん通信」上映会 in 静岡

日時：2011年6月19日（日曜日）開場 19:00 19:00～ 「ぶんぶん通信 no.3」

場所：静岡市駿河区さつき町 6-5 ([地図](#)) コミュニティスペースふらっと

【参加費】 主催者にお問合せ下さい 【主催】 NPO Lival

【問合せ先】 高橋／054-260-6132

【近畿】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+監督トーク in 京都造形芸術大学

日時：2011年6月19日（日曜日）開場 9:30／上映 10:00

場所：京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学・京都芸術劇場春秋座

【参加費】 一般 1000 円／京都造形芸術大学関係者...主催者にお問合せ下さい

【主催】 京都造形芸術大学上映会実行員会 【問合せ先】 京都造形芸術大学ウルトラファクトリー古川／075-791-8482／ zokei_joeikai@yahoo.co.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+氏本長一さん&鎌仲監督トーク in 羽曳野市

日時：2011年6月19日(日)

第1部 10:00 上映/第2部 13:30 上映/トーク 16:00 ころ～

場所：大阪府羽曳野市誉田 1-4-4 (地図) 羽曳野市市民会館

【参加費】大人 1000 円/高校生以下・障がい者...主催者にお問い合わせください

【主催】環境ネットワークはびきの

【問合せ先】橋本/090-8234-3707/ b-k-c@gaia.eonet.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 吹田市

日時：2011年7月1日(金曜日) 開場 13:30/第1回上映 14:00/第2回上映 19:00

場所：大阪府吹田市朝日町 5-32 (地図) 吹田市民会館

【参加費】1000 円 【主催】すいた共生・平和のつどい実行委員会

【問合せ先】細田/06-6317-5598

【中四国】

●「海の生き物教室」 上関長島

上関原発予定地田ノ浦で「海の生き物教室」を開催します。現地祝島のかたがたや全国のみなさんの抗議行動、そして非常に残念なことです。福島第一原発事故の影響で今年も田ノ浦湾は埋め立てられず、アカテガニが子供を産む夏が迎えられます。ナメクジウオやほかの生き物たちも元気に暮らしています。その感謝の意味も籠めて、下記のとおり、海の生き物教室を開催します。たくさんの命のつぶやきに耳をすませてください。アカテガニが大潮の夜に海に向かって仔を産む様子や夜、活動するゴカイの観察、貝殻標本づくりなど、夏休みの子供たちにも楽しい体験ができる企画です。ガイドをしてくださるのは、いずれも専門の先生たちです。

1. 日程

7月30日(土) 10:30 上関町室津港駐車場集合

原発予定地 田ノ浦のログハウス「人々のつどいの家」に移動

*人々のつどいの家; 祝島島民の会管理。全国からのカンパと

祝島のかたがたの労力で建てられたログハウス

海岸生物採集・標本作り体験 *指導; 貝類多様性研究所 山下博由さん

夜のゴカイ・アカテガニ放仔観察*指導; 佐藤正典さん(鹿児島大学)

人々のつどいの家で宿泊

7月31日(日) 自然に負荷を与えないシュノーケリング教室(予定)

*プロのダイバーに指導いただく予定です

14:00 解散

2. 参加費 大人 15,000円程度(予定;メニューによって変更あり)

(ガイド料、船チャーター料、食費・「人々のつどいの家」利用料等含む)

子供 8,000円程度(同上)

3. 申し込み締め切り 7月15日(金)

4. 申し込み先

高島美登里 携帯 090-8995-8799 Fax 0820-62-0710 midori.t@crocus.ocn.ne.jp

森田修 携帯 Tel 090-4695-1290 Fax 0820-47-2120 yo.morita@extra.ocn.ne.jp

●「スナメリウォッチング&祝島びわ狩りツアー」

瀬戸内海で最後に残された豊かな海の象徴であるスナメリに会い、祝島の人たちが「世界一！」と自負される、島の人たちの手で愛情こめて作られたビワの味を堪能しましょう！！

日時 6月11日(土) 9:30~16:00

集合場所 室津港駐車場

参加費 大人 3,500円(船チャーター料+資料代)

子供 1,000円(船チャーター料)

◆びわ狩り入園料—1,000円(食べ放題) 飲み物・昼食は各自でご用意ください。

スケジュール(予定)

室津港集合 9:30

室津港出港 10:00(チャーター船 or 雨天の場合、定期船を利用)

* 定期船でこられる方を待って出航します。

スナメリウォッチング&原発予定地視察

びわ狩り&昼食(お弁当持参)

DVD“瀬戸内スナメリものがたり”鑑賞

島内散策

祝島出港 15:00

スナメリウォッチング

室津港到着 16:00

申込締切 2010年6月4日(土)

氏名、大人と子供(小学生以下)の区別、緊急連絡先を必ずお知らせ下さい。

準備するもの—虫除け対策(長袖) 海水に濡れてもいい履き物の方が安心です。

スニーカーなど里道を歩ける履物

【申込み先】

高島美登里 携帯 090-8995-8799 Fax 0820-62-0710 midori.t@crocus.ocn.ne.jp

森田修 携帯 Tel 090-4695-1290 Fax 0820-47-2120 yo.morita@extra.ocn.ne.jp

祝島のビワの説明はこちら <http://www5d.biglobe.ne.jp/~jf-iwai/biwa.htm>

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 徳島市

日時：2011年6月18日(土曜日) 第1回上映10:00/第2回上映14:00/監督トーク
16:25/第3回上映18:30(開場...各上映時30分前)

場所：徳島県徳島市幸町1-6(地図) 徳島ホール

【参加費】一般前売1000円/当日1300円/高校生...主催者にお問い合わせください

【主催】ミツバチぶんぶん実行委員会

【問合せ先】ヨシダ/090-9559-4148/ VZP10406@nifty.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 新見

日時：2011年6月18日(土曜日)19:00スタート

場所：島根県新見市新見210 珈琲屋あるれ

【参加費】主催者にお問い合わせ下さい 【主催】888新見上映会準備委員会

【問合せ先】伊東/086-270-5305/ info@d-mc.jp

「ぶんぶん通信 no.1」上映会+虹のカヤック隊の上関レポート in 大崎上島町

日時：2011年6月25日(土曜日)開場17:00/上映17:30

場所：大崎上島町中野1841-12(地図) アンテナ

【参加費】1000円(ドリンク・軽食付) 【主催】せとうち虹ネットワーク

【問合せ先】やなぎ/080-5020-4512/ seto.niji.net@gmail.com

【九州】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 水俣市

日時：2011年6月25日(土) 第1回上映10:00/第2回14:00/第3回上映18:00

場所：熊本県水俣市浜町2-10-26(地図) 水俣市公民館ホール

【参加費】前売り1000円/当日1200円/高校生以下...主催者にお問い合わせください

【主催】「ミツバチ」水俣上映実行委員会

【問合せ先】大嶽/080-6407-5035/ yueliang@cameo.plala.or.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 都城 ★宮崎県リレー上映会★

日時：2011年7月2日(土曜日) 第1回上映14:00/第2回上映18:30(開場は30分前)

場所：宮崎県都城市蔵原町11-25(地図) 都城市ウェルネス交流プラザ2階ムジカホール

【参加費】前売り1000円/当日1200円

【主催】映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会実行委員会

【問合せ先】水口/0986-45-5109/ mirutos@btvm.ne.jp

【沖縄】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+キム・スンヨンさん×鎌仲監督トーク in 読谷村

日時：2011年6月26日(日) 1) 開場 13:00/上映 13:30 2) 開場 17:30/上映 18:00

場所：読谷村座喜味 2901 (地図) 鳳ホール

【参加費】999円 【主催】読谷村商工会青年部

【問合せ先】泉田/090-7312-8589/ info@naedoco.net

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督×吉本多香美さんトーク in 石垣島

日時：2011年6月27日(月曜日) 朝：9:30~11:45 昼：14:00~16:15 その後30分間、

対談(MC：松原カイ) 夜：19:00~21:15 その後30分間、対談(MC：伊良皆誠)

場所：沖縄県石垣市新栄町 79-1 (地図) 双葉公民館

【参加費】前売 1000円/当日 1300円/小中学生：主催者にお問合せ下さい

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」石垣島上映実行委員会 <http://kurin.exblog.jp/15725962/> ★↑詳細は是非ホームページをご覧ください↑★

【問合せ先】栗村/090-8292-1917/ kurin@nachu.jp

3. 海の生き物とその環境に関する出版物



もう、
きっぱりやめよう!



● IKANet NEWS SPECIAL EDITION

-Jun. 2011-

1. 調査捕鯨って何だ？

調査捕鯨の歴史

日本の実施している調査捕鯨
(JARPA と JARPN)

日本鯨類研究所と共同船舶
捕獲されているクジラたち

2. 調査捕鯨を評価する

IWC による評価

鯨肉販売と調査

調査捕鯨に対する様々な意見

3. 調査捕鯨のゆくえ

声明

4. きらめく動物たちの命と海 【久保田信の白浜だより(その7)】

ウミガメの未来

2003年12月24日、北浜でアカウミガメの幼若個体が漂着しているのを見つけた。死因は漁網にかかったために窒息したと推測された。網の切れ端が証拠として残っていた。腐敗状況から、死んで数日経っているとみられる。産卵地が近いこともあって、実験所周辺にはアオウミガメよりもアカウミガメの方が多く訪れる。まれに、鼈甲で知られるタイマイも現れており、北浜でも甲羅の一部らしきものを拾ったことがある。

(1) ウミガメの産卵と孵化

砂浜を歩いていると漂着個体ばかりでなく、ほほえましい光景に出くわすこともある。2003年8月下旬にアカウミガメの卵をじかに見ることができた。これは、1992年の産卵時の遭遇に続く2度目の対面だった。瀬戸臨海実験所での児童館の自然観察会で、北浜で砂の表面に出ていた数個の卵を発見した。7月初旬に田名瀬英朋さんがはい跡を発見した地点と一致した。通常2カ月でウミガメ類の卵はふ化するので、すぐに掘り出すのは止めて、完全に孵化し終わった時点を見計らって、いろいろ調べることにした。

9月中旬、瀬戸臨海実験所に全国から多くの大学生がやって来た。実習のスケジュールには入ってなかったが、ウミガメの孵化直後の時期とちょうど重なったので、学生たちに孵化の確認をと穴掘りをして見てもらった。驚いたことに、50cmという予想よりも浅い所に卵があった。波浪などで地形が変わりやすい北浜の砂浜だから、幾つかの卵が表面まで放り出されたのも納得できる。卵は全部で100個余りあった。その6割ほどが孵化に成功していた。残りは黒ずんだ塊と化して死んでいた。紀伊民報記者が学生たちにインタビューした。ウミガメの卵について、「陸に上がって深く穴を掘って産卵するので、硬い殻と思っていた。こんなに軟らかいとは思わなかった」と驚いていた。

(2) ウミガメの未来は暗い

自然界は厳しく、ウミガメを取り巻く環境はどんどん悪くなる一方だ。このような状況の中で、生まれ故郷のここ北浜に戻って産卵できるのは、ほとんど奇跡に近いだろう。瀬戸臨海実験所に勤務する地元出身の職員や古くから白浜町で暮らしている方々から、今回の北浜での卵掘りの新聞記事を読んで、「昔は、このあたりでウミガメ類の産卵がよく見られたものだ」との知らせがあった。白浜町でもウミガメ類の産卵は、昔話になりつつあるようで残念だ。

一方、ごく最近、ウミガメ特有の奇病「フィブロピロマ」の慢延が懸念されている

という報道もあった。ますます気がかりだ。南部町の千里の浜では、最も多い時に上陸 900 回（1990 年）、産卵 348 回（1991 年）の記録もあり、『ウミガメ銀座』状態だったが、近年は減少の一途をたどり、2003 年は上陸 155 回、産卵 75 回となっているという。産卵に適した砂浜の減少に加え、近年、漁網や漁獲法などがすこぶる発達したことから、混獲（誤って漁網にかかってしまうこと）によって相当数のウミガメが犠牲になっていることが想像できる。希少動物であるウミガメを、子々孫々まで残すのは、我々の義務だ。

ところで、米国のデューク大学の研究グループは、このほど、世界中で年間 30 万個体ものウミガメ類が、誤って漁網にかかったり、マグロはえ縄にかかったりして混獲されているとの試算を出した。同グループは、アカウミガメやオサガメが、過去 20 年間で 80～



90%も減少したことを指摘している。混獲後の死亡率は不明確だが、アカウミガメは、太平洋だけでも年間数万個体が死んでいると見積られている。ウミガメ類の未来は暗すぎる。

（2004 年 3 月 30 日）

図. 和歌山県白浜町のアカウミガメ

5. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月 1 日と 16 日の 2 回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、

郵送料をご負担していただくことがあります。

- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひるも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

6. 編集後記

フクシマ原発事故が発生してはや3ヶ月が過ぎた。原発の終息の気配は感じられないが、世界規模で人々の考え方が変わりつつある。ドイツではいち早く脱原発への舵を切り、イタリアでは投票者の90%以上が反原発に票を投じた。日本でもようやく人々が原発のことを自分の身に引きつけて考え始めたように思う。上関原発は、瀬戸内海の生き物の楽園と言われるようなところに建設が計画されてきたが、これまで人々はそのことに注意を払おうとしなかった。しかし、今では上関原発計画は、人々の関心と呼ぶところになってきた。自ら危険性を証明した福島原発はもちろん、鎌仲ひとみ監督の映画「ミツバチの羽音と地球の回転」と瀧本あや監督の映画「祝（ほうり）の島」が全国に上関の問題を広げた功績は大きい。うみひるも誌上でも、各地で自主上映会が盛んに行われるようになり、誌面のかなりの部分を占めるほどになってきた。少々、うるさいと感じられる方もおられるかもしれませんが、それだけの広がりが出てきたことを直に喜びたいと思います。上関原発計画が一日も早く白紙に戻り、瀬戸内海の最後の楽園を維持し、瀬戸内海全体の復活につなげられる日が来ることを祈っています。(宏)

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円/年、団体 20,000 円/年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局

hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp (向井) まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第 81 号

2011 年 6 月 16 日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会